

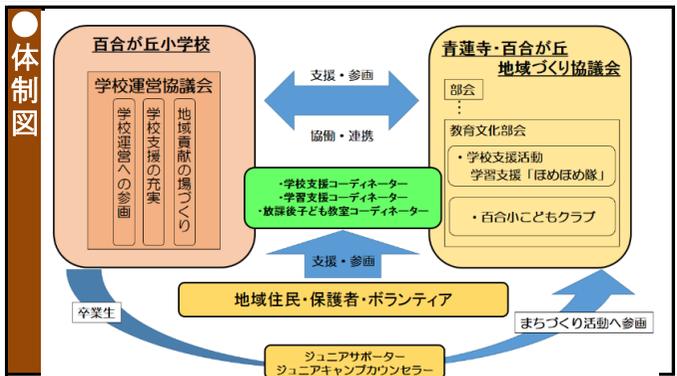


地域学校協働活動の継続が、地域を支える若者を生む

三重県名張市	●活動名	●関係する学校名
	青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会教育・文化部会	名張市立百合が丘小学校

協働活動開始年度	平成 22 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	19 学級	のべ児童・生徒数	433 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
	—	放課後子供教室		—		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	1人		4人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	平成30年4月1日設置		150人				
参考URL	http://www.emachi-nabari.jp/svourenji-yurigaoka/						

●連絡先	名張市教育委員会 文化生涯学習室	☎ 0595-63-7892
------	------------------	----------------



●活動の概要・経緯
 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会の教育文化部会に平成20年度から百合小こどもクラブ(放課後子ども教室)を、平成22年度からは百合が丘小学校学習支援「ほめほめ隊」を位置付けて、多くの地域ボランティアによる子どもの居場所づくりや、学校支援活動に地域ぐるみで取り組んでいる。学校支援活動においては、三位一体会議(学校・保護者・地域)を定期的開催し、課題の共有や解決に向けそれぞれの立場から取り組んできた。このような活動を発展させ、平成30年度からは学校運営協議会を立ち上げ、名張版コミュニティ・スクールの3本柱である「学校運営への参画」・「学校支援の充実」・「地域貢献の場づくり」に取り組み、充実した地域学校協働活動を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校支援活動:学習支援「ほめほめ隊」をはじめとするボランティアが、教科学習・水泳授業・体験学習・クラブ活動など学校のニーズに沿った支援活動に取り組んでいる。
- ②放課後子ども教室「百合小こどもクラブ」:子どもたちへ体験活動を通した学びを提供し、また、市民センターが子どもたちの居場所となるように取り組んでいる。活動プログラムには、百合が丘地域を探索する「オリエンタリング」をはじめ、市民センターでのキャンプや小学校の長い廊下を利用した「長い巻きずし作り」など様々なテーマが考えられており、地域と学校が協働して子どもたちを育てるという意識を持って取り組んでいる。

【実施に当たっての工夫】

- 実施にあたっては、地域づくり組織内の部会活動に学校支援活動や放課後子ども教室を位置付けて取り組んできたため、窓口が一本化され、多様な活動が円滑に行われている。
- 学校支援活動では、地域コーディネーターを位置付け、学校からの要請を受け、登録されたボランティアへ照会、取りまとめを行っており、円滑に支援活動が行われる組織が構築されている。
- 放課後子ども教室は、市民センターを拠点として地域コーディネーターや地域ボランティアの参画のもと実施している。子どもの参加については、登録制をとることによって、年間を通して多くの子どもたちが参加するよう工夫がなされている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

小学生の頃、放課後子ども教室に参加したり、学習支援や地域住民による見守りを受けて育った子どもたちが、中学・高校へ進学後に、「ジュニアサポーター」として放課後子ども教室の運営をサポートしている。このジュニアサポーターは、放課後子ども教室以外にも地域活動や地域イベントの企画・運営に携わるなどまちづくり活動にも参加し地域貢献を行っている。サポーターの中で、希望者に対して体験型の研修を実施し、野外活動や地域活動に関する知識をさらに深め、「ジュニアキャンプカウンセラー」として、より一層地域貢献ができる体制づくりを推進している。こうした取り組みの成果として、まちづくり活動に参加し関わりを持つ若い世代が増えており、将来の地域づくり活動者として期待されている。

● その他

2017年の千葉県での事件をきっかけに、8時、3時の児童の登下校時の見守りを地域住民すべてが意識し行動しようと、「8・3運動」に地域全体で取り組んでいる。住民への啓発と推進のノボリを校区内に立て、地域イベントや集会、地域広報紙でも継続的に説明し地道な定着活動を実施中。



とき百
と地合
ず小
サシ
ポチ
ーヤ
タレン
ージ
ン「
参参加
加長
児い
童童
巻巻



す宿百
ラる合
ージ小
ンヤこ
ニンども
アプク
キフラ
ャイブ
ンア夏
プカ休
ウ指み
ン導合